

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290900222		
法人名	株式会社 ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート船橋三山		
所在地	千葉県船橋市三山5-57-12		
自己評価作成日	平成25年3月25日	評価結果市町村受理日	平成25年6月20日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階
訪問調査日	平成25年3月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>2階のグループホームはお客様同士の交流が多くあるため、人間関係が崩れないようにスタッフとお客様で 過ごしやすく楽しい環境を作っています。</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>「ADLの低下を防ぎ向上させよう」を事業所独自の目標とし、ホーム前の敷地や近隣の公園を利用しての歩行訓練のほか、ホーム内での生活においても極力歩行を促し、身体機能低下防止に一丸となり取り組んでいる。また、日々の生活の中で楽しみが持てるように毎月行事計画を立て実施しているほか、コーラスのボランティアを招聘する等生活の幅を広げる取り組みにも力を入れて取り組んでいる。今後に向けては地域との交流をより深め、地域に根差した運営を前進させると共に、職員育成にも力を入れ質の向上を目指す等、今後に向けての前向きな姿勢も確認出来た。</p>
---

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	○JITの際に理念の説明を行っています。玄関先に掲示をして確認しやすいようにし、日々の業務につなげています。	法人の社是、経営理念、心得を事務所内に掲示しているほか、ホーム独自に「ADLの低下を防ぎ向上させよう」を共通認識に掲げ、散歩や外気浴、トイレ誘導等極力歩行を促す等、日々の支援に反映させている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入している為、地域の行事案内が届くので、出来るだけ多くのお客様に参加して頂くようにしています。	自治会への加入のほか、地域情報を回覧板で収集し、地域行事への参加により交流が深まるように努めている。また、毎月コーラスボランティアの方の来所もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域で行われている介護教室にさんかしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、利用状況や、行事を行った時の写真をお見せし、どのような事を行っているのか説明をさせていただいた。	運営推進会議には、家族、地域代表者の参加を受け、2か月に一度定期的に開催している。会議では事業所の状況報告を中心に、参加者からの意見を収集しながらサービス向上につながるよう取り組んでいる。	会議は2か月に一度定期的実施しているが、今後に向けてはより多くの方に参加を頂き、様々な意見が収集できるよう取り組まれることに期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政に関係する業務で分からないことがあった場合には、電話やメール等で情報交換しています。	市の担当課との連携については、運営上疑問が生じた点などは行政の指示を仰ぐほか、悪天候が予測される際には市の担当者から連絡が入る等協力関係が構築されている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は行っているが、事業所内での身体拘束行っていない。	身体拘束廃止に向けた取り組みでは、拠点会議の中で「高齢者虐待防止」をテーマに取り上げ、不適切な対応が発生しないよう取り組んでいる。現状、玄関の施錠も含め身体拘束につながる事例は発生していない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の種類や内容については事業所内で研修を行い虐待についての知識をみにつけるようにしている。		

グループホームガーデンコート船橋三山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護は虐待研修時併用して勉強を行い、知識身につけるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学に来られた時や、初回面談、契約時にご説明を行ない、不明な点が無いか尋ね、理解して頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年間2回程アンケートを実施し、質問や要望に対して書面にて回答、報告を行うようにしている。	内外の苦情窓口を重要事項説明書に明記し契約時に説明している。家族からの意見や要望については、面会時に直接伺うほか、法人全体での顧客満足度調査を年2回実施し、意見や要望を収集している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議の場での意見や個々と面談を行い意見を聞いたり、相談にのっている。また、すぐに返答できる事に関しては、その場で返答するようにしているが、出来ない場合は、連絡ノートを活用したり後日話の場を設けるようにしている。	職員からの意見については、半年に一度の割合で職員との個人面談を行い、意見や要望等を収集している。また、毎月の拠点会議の中でも意見収集する等、日常的に職員からの意見を収集している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフトを作成する時にはスタッフ個人の生活環境、体力、年齢等を考慮して作成するようにしている。また、社外の研修にも出来るだけ参加できるようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	時間があるときには現場に行きスタッフの動きを見るようにしている。また、月1回社内研修を行うようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の事業所の管理者と月1回会議を行ない、近況報告や、情報交換を行なっている。		

グループホームガーデンコート船橋三山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談時やサービス利用時にお話しを聞き、お客様の過ごしやすい環境を作るように心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	管理者及び計画作成者が困っている事や不安に感じていること、また、ご家族からの要望をお聞きし、関係構築に勤めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様・ご家族様からお話をお聞きし必要なサービスを提供するように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ることは出来るだけご本人様にやって頂けるように支援を行い、スタッフは補助的な役割として寄り添うようにケアを行っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月ご家族様宛てにお手紙を書き近況報告を行っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会・外出・外泊は自由に行えるようにしています。	これまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係継続の支援に向けては、友人の面会の受け入れや家族の協力を得ての外出など、関係性継続に向けた支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	フロアーの清掃やお食事作りはスタッフと皆様が協力しあって行っています。		

グループホームガーデンコート船橋三山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方にもご連絡をさせて頂き、困っていることや相談事がないかを伺っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン作成時にご本人様から要望等をお伺いしホームでの生活を充実した生活として楽しんで頂けるように努めている。	利用者の思いや意向については、日常会話からの聞き取りや家族からの聞き取りを通じ、利用者の意向に沿った支援につなげている。また、ケアプラン作成時において、アセスメントを行い、利用者のニーズや現状の課題を抽出している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアプラン作成前に生活暦等の状況を把握しアセスメントに反映するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出来ることは出来るだけご本人様にやって頂けるように支援を行っている。申し送り・日誌等を活用し情報の共有を図っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成者によりご本人様・ご家族様と話を伺いプランを作成している。	アセスメントで得た情報を基に、担当者会議において家族や職員の意見を収集しケアプランを作成している。またモニタリングを毎月実施し、プランで掲げた目標に対する達成状況、利用者満足度を確認している。	今後に向けては、サービス内容実施期間と短期目標期間の整合性を図り、見直し前に目標期間が切れる事が無いように取り組まれることに期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は個人日誌に記入し、現場スタッフ事務スタッフで情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズの対応として、1人のスタッフだけで解決しようとせず、多数のスタッフや施設にある環境を活かして取り組んでいる。		

グループホームガーデンコート船橋三山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域での夏祭りや清掃活動にスタッフと一緒に参加し、地域交流を行えるようにしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科・歯科は往診をして頂いているが、ご家族様と通院される際は施設内での状況をご家族にお伝えし、適切な医療機関での受診が行えるよう努めている。	ホーム提携先医療機関による往診が毎週実施されている。緊急時には主治医と連絡が取れる体制を築いているほか、外来受診が必要な場合には近隣のクリニックや整形外科等に通院できるように支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	普段との違いに気づいた時には、事務所に連絡して頂き往診医に相談を行うようにしている。また、小規模多機能の看護師にも情報共有し見て頂くようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際は、病院に連絡し様子や退院時期を伺うようにしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族の要望を尊重し今後予測される事態について、ご家族様・医療機関・計画作成担当者などで話し合い、連携が円滑に行えるようにしている。	重度化や終末期に向けた方針については契約時においてホームとして取り組めることを家族に伝え、できる限り早い段階で方針を説明している。また、重度化を向かえた際には、家族や主治医を交え協議し今後の支援方針を決定していくこととしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	申し送り時お客様のリスクを確認し予測される事故等を報告し、対応方法等をその都度確認している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練等でシミュレーションを行い、訓練に参加されていない方には、訓練時の資料を提供し知識を身につけるようにしている。	消防署指導の下での避難訓練や座学を通じて防災への取り組みを確認している。災害時に備え備蓄品として冷凍食品等を保管しているほか、家族への連絡方法等についても法人所定のマニュアルに基づき対応することとしている。	災害時に備え、地域住民との協力体制をより深める事が出来るように取り組まれることに期待したい。

グループホームガーデンコート船橋三山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	内では、利用者ではなくお客様と考えているので、お客様が不快に思われないように、お客様の自尊心に気をつけ対応している。	利用者ではなくお客様という考えに基づき、日々不適切な対応が無いように注意を払い、利用者の誇りやプライバシーを損ねる事が無いように支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常にお客様にやってみようように声かけをするのではなくお客様の調子に合わせ、ご自身で判断できるように声かけをおこなっています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お食事の時間や入浴の時間は定められているが、それ以外の時間はお客様のペースに合わせて自由に過ごしていただけるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お客様の好み要望等に合わせてその日着るお洋服お出しし選んで頂けるようにしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理はほぼ毎日のようにスタッフと一緒にやっている、盛り付けは時々お客様にやってみることがある。食後は使用された食器を台所まで持って来て頂くなどスタッフと協力してやっている。	食事の準備には利用者も関わりながら、職員と一緒に実施できるよう支援している。食事を楽しむ工夫としては、屋外でのバーベキューや個別で外食に出かける等いつもとは違う雰囲気です食事を楽しむ事が出来るように工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取された食事量・水分量を記録し、摂取量が少ない方には声かけより多く摂取して頂けるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを促し行って頂いています。週に1度、訪問歯科に来て頂いて口腔内のチェックを行って頂いている。		

グループホームガーデンコート船橋三山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレの誘導時間を定めずお客様の排泄パターンをスタッフで共有しトイレ誘導行うようにしている。	利用者一人ひとりの排泄状況を「排泄表」に記載し、排泄パターンを職員間で共有している。日中は、定時の声かけや誘導により、トイレで排せつできるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の記録を行い、便秘の方はいつから出ていないか・排泄があった方は、量や形状を申し送り時に報告をおこなうようにしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴の時間は定められているが、毎日入浴できるようにしている。また状況等により入浴して頂くこともある。	入浴については、2日に1回入浴できるよう支援しているが、利用者の要望にも応じ、利用者のタイミングを尊重している。入浴中は職員も介助につき、安全に入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝のバイタル測定や夜間帯の様子が普段と違いがあった場合は居室にて休んで頂き定期的に巡視を行うようにしている。また、夜間帯も睡眠の妨げにならないように定期的に巡視を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬に関しては、週に1度往診に来て頂いている医師と薬剤師とケアマネージャー、計画作成担当者がカンファレンスを行い効能や副作用の留意点等について話をしており、申し送り時にスタッフにも情報を共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来るだけ建物の外に出て体操や散歩を行うようにしています。状況に応じてひとりひとり体操やレクリエーションを行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	桜やコスモス等季節を目で見て肌で感じられるように季節に合わせて外出している。	ホーム前の敷地や近隣の公園を利用したの歩行訓練のほか、外出行事としてお花見、ドライブ、外食に出かける等、利用者の要望も考慮しながら外出できるように支援している。	



グループホームガーデンコート船橋三山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お客様からのお預かり金は事務所で一括で管理しています。お買物に行くときは職員と一緒に出かけお買物をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人から手紙を書かれることは無いのですが、ご本人よりお電話をされたいときや、ご家族様よりお電話を頂いた時は、取次ぎしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	スタッフと一緒にカレンダー作りや季節の装飾品を作成し季節感を採り入れている。	利用者が集うリビングには、季節に合わせた装飾を行うほか、ソファを配置しくつろげる空間を確保し、居心地良く過ごせるように配慮している。また、歩行の妨げになるものは放置せず、安全性にも配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思い思いに過ごせる空間は無いが、気の合う方同士席を近くに座って頂くなど、環境作りを行っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今までお使いになられていた物を持ち込まれることは可能であるが、刃物や火気等の危険物を持ち込まれることは、控えて頂いている。	居室には、ご自宅で使い慣れたものを持ち込めるように配慮しているほか、ベッドや家具の配置についても利用者や家族と相談しながら決定し、居室内においても居心地良く過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー設計となっており設計上安全に配慮した工夫をされており、自立した生活が送れるようになっている。		